

加賀市下水道事業の計画見直し（案）について

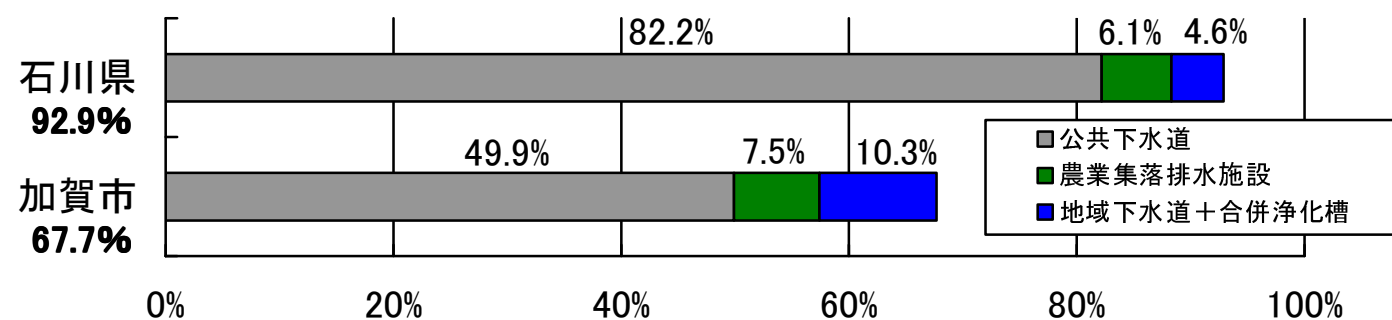
1. 下水道事業の状況と課題

加賀市では、住み良いまちの実現、きれいな水を未来に残すことを目的に、公共下水道事業、農業集落排水施設事業、合併浄化槽の設置費助成などの下水道（生活排水処理）事業を地域毎に取りまとめた生活排水処理構想（エリアマップ）に即して事業を進めています。

整備手法		概要	供用開始
集合処理	公共下水道	(流域公共下水道) 大聖寺川処理区	大聖寺川流域の生活環境と加賀沿岸公共水域の水質改善を図る。 平成7年12月
		(単独公共下水道) 片山津処理区	動橋川流域の生活環境と柴山瀧の水質改善を図る。 昭和50年10月
	農業集落排水施設（分校地区他11地区）	分校地区などの農業振興地域における生活環境及び農業用水の水質改善を図る。 平成元年4月	
	地域下水道（若葉台）	開発行為等により整備された処理施設。 平成3年4月	
個別処理	合併浄化槽	下水道区域外で戸別に排水対策を図る。	—

人口が集中する地域から整備を進め、公共下水道および農業集落施設の処理区域内人口と、合併処理浄化槽を設置し汚水処理が可能な人口の合計は行政区域内人口の67.7%となりましたが、石川県の平均値92.9%に満たない状況です。

・下水道普及率（平成26年末）



下水道は、水環境の改善策として欠かせない事業ではありますが、現在の計画を進めるには、長い期間と多額の費用が必要であること、既存施設が老朽化し維持費が拡大してきていることなどの課題があります。

そこで、人口減少の進行など社会情勢の変化に対応して経済的・効率的な下水道事業の推進するため下水道計画を見直します。

2. 計画見直しのポイント

1. 目標年次と人口規模 【人口減少に対応】	目標年次：平成55年度 人口規模：53,200人・22,542戸（県流域別総合計画と整合）
2. 未供用地区の事業費を比較検討 【事業の効率化の検討】	公共下水道整備費（管渠+処理場の設備費、維持管理費） ↕ 比較検討 合併浄化槽整備費（設置費、維持管理費） ※人口密度が、約25人（約11戸）/ha以上の地区で集合処理が有利
3. 早期の事業完了	集合処理は、供用地区に隣接して早期の事業完了が見込める地域に絞る

※三省（国土交通省、農林水産省、環境省）統一マニュアルにより検討します。

3. 加賀市下水道計画の見直し（案）

長期の建設期間と多額の費用が必要な公共下水道区域を、短期間で個別に対応できる合併浄化槽設置区域に振替え、下水道事業の効率化と経営の健全化および早期の下水道整備を図ります。

